

鹿児島県漁海況週報

平成23年10月13日発行(10月6日～10月12日)
第2425報【旧暦：9月10日～9月16日/月齢8.7～14.7/潮汐：長潮～大潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL: 0993-27-9212, FAX: 0993-27-9218
HP: <http://kagoshima.suigi.jp/>

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は10月12日現在、屋久島御崎の南8マイル付近にある。

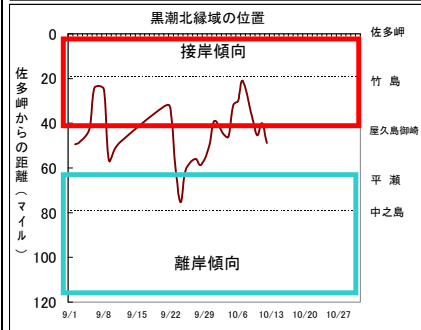
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は10月11日現在、69マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、黒潮流域、竹島、中之島、笠利崎、与論で0.1～0.6℃昇温し、その他の海域では0.1～1.2℃降温した。

平年比較では、竹島、中之島で“やや高め”、屋久島御崎、笠利崎で“やや低め”、その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	27.2	+0.1	+0.1	平年並
鹿児島	24.6	-0.4	+0.1	平年並
佐多岬	25.0	-0.4	-0.4	平年並
竹島	26.4	+0.6	+0.4	やや高め
屋久島御崎	25.8	-0.9	-0.6	やや低め
中之島	27.2	+0.3	+0.5	やや高め
笠利崎	25.8	+0.3	-0.5	やや低め
与路島	26.6	-0.1	-0.1	平年並
与論	26.9	+0.2	-0.1	平年並
甌海峡	24.8	-1.2	+0.3	平年並

鹿児島ー那覇定期客船観測は10/12～13
串木野ー甌定期客船観測は10/12

【漁況】

○定置網

西薩南部海域では、サワラ(300g)が2トン/日、マヅ(50g)が500kg/日、ゴマサバ(300g)が200kg/日、アカマス(100g)が150kg/日、ヤマカマス(100g)が150kg/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、ウルメイワシが50～100kg/日、トビウオ(200g)が30～40kg/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、ヤマカマス(100g)が180kg/日の入網。大隅半島東部海域では、週計で40統がサハ類中、タチウオ、カマス主体に17トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でマヅ、サハ類、タチウオ主体に10.7トンの入網。

○キビナゴ刺網

甌島海域では、2～12箱/隻・日の漁。種子島海域では、20～30箱/隻・日の漁。

○ブリ銅付け

甌島海域では、3～5kgサイズを50～90尾/統・日の漁。鹿児島湾口部薩摩半島側では、3～4kgサイズを200～300尾/統・日、3～12kgサイズを70～100尾/統・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、3～6kgサイズを200尾/統・日の漁。大隅半島南部海域では、5～6kgサイズを50～80kg/統・日の漁。

(まき網、専受網、カツオ平均的漁況は下記の表に記載していません。)

業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	※前年同期(第2377報)					
						1日1統	前週隻数	前週漁獲量	前年同期隻数	前年同期漁獲量	
旋網	阿久根	大	0	—		—	0	—	0	—	
		中	8	53	阿久根沖 串木野沖 長島	マヅ小21 サハ類小20 マヅ仔20	6.7	15	83	0	—
	枕崎	大	4	327	津倉 西新宮根 宇治	ウルメイワシ39 オアカムロ中27 ゴマサバ豆20	81.7	6	658	0	—
		中	11	476	宇治 津倉 内之浦沖	ウルメイワシ64 モロ豆18 ゴマサバ豆15	43.3	17	639	1	6
	内之浦	中	0	—			—	0	—	0	—
	山川	中	0	—			—	0	—	0	—
計	大	4	327			81.7	6	658	0	0	
	中	19	529			27.9	32	722	1	6	
東海旋網	阿久根	0	—			—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—			—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	52	144	阿久根沖 長島	ウルメイワシ73 カタチイワシ15	2.8	52	74	0	—	
	内之浦	7	28		ウルメイワシ92	4.0	3	7	0	—	
定置網	内之浦	40	17		サハ類中37 タチウオ18 カマス9	0.4	41	37	38	39	
刺網	阿久根	大	1	258	カツオ中96	258.4	0	—	0	—	
		小	0	—			—	0	—	1	8
	海旋	0	—			—	0	—	0	—	
	山川	中	6	75	カツオ小58 キハダ38	12.4	3	22	5	74	
		海旋	1	504	カツオ小72 キハダ19	503.6	0	—	0	—	
瀬戸内	小					—					

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、中ヒを200箱/統・日、屋久島海域では、中ヒを17～37箱/統・日の漁。

○パッチ網

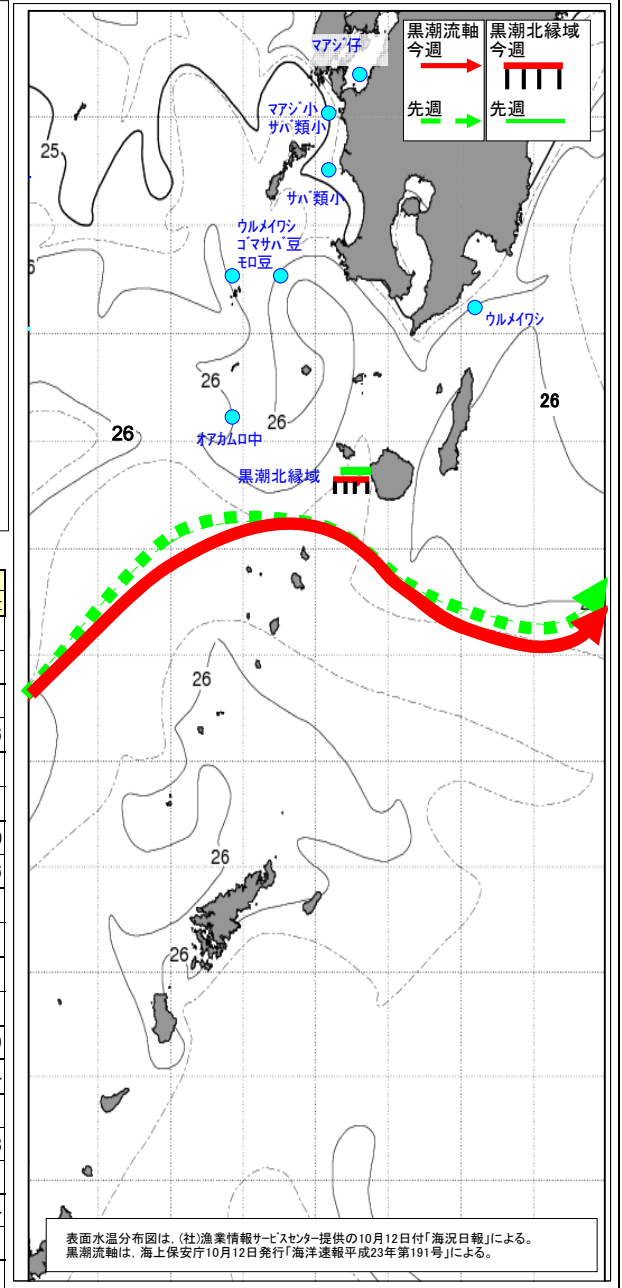
西薩南部海域では、1日のみ製品で1.5トンの漁。

○パシヨウカジキ情報

流し刺網では、甌島海域で20～30kgサイズを週計で30尾、鹿児島湾口部大隅半島側で18～25kgサイズを週計で40尾の漁。

○その他

甌島海域では、一本釣りでケンサキカ(150～200g)を20～70kg/隻・日の漁。西薩海域では、フグかごでサハフグ(200g)を100～150kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒゲナガエビを多い船で300kg/日の漁。熊毛海域では、一本釣りでウメイワシ(800g)を60kg/隻・日、アオダイ(800g)を40kg/隻・日、ゴマサバ(600g)を20kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、延縄の3日操業でムツ(0.8～1kg)を100kg/隻、ナヨキン(0.8～1kg)を50kg/隻、メダイ(5kg)を50kg/隻、一本釣りの4日操業でキハダ(30～50kg)を8尾/隻、ピンナガ(10kg)を15尾/隻、旗流しでキハダ(20～40kg)を10尾/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の10月12日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁10月12日発行「海洋通報平成23年191号」による。